

竜丘地域自治会「年度末総会」開かれる

～組織一本化後の活動を総括し、基本構想実現に向けた事業計画案・予算案を可決～



3月24日に竜丘地域自治会の「平成25年度年度末総会」が開催されました。総会では、平成25年度の事業報告及び決算報告の認定に引き続き、平成26年度の事業計画案・予算案が可決されました。

今回は、地域自治会の平成25年度の主な決算額をご紹介します。

【平成25年度決算額】

収入総額が36,228,606円、支出総額が28,425,760円で、次年度への繰越金が7,802,846円となりました。

●収入総額 36,228,606円

- ・地域自治会費 15,863,000円 (43.8%)
- ・飯田市からの交付金 6,055,000円 (16.7%)
- ・繰越金 9,206,912円 (25.4%)
- ・その他 5,103,694円 (14.1%)

●支出総額 28,425,760円

- ・事務費 8,011,623円 (28.2%)
- ・事業費 19,479,987円 (68.5%)
- ・予備費 634,150円 (2.2%)
- ・積立金 300,000円 (1.1%)

地域自治会費の納入等、これまでの地域自治会の活動に対するご協力に感謝申し上げます。来年度も、引き続き、ご協力ほどよろしくお願いいたします。
(地域自治会区長会)

「里山を共有して利用につなげよう」

里山講演会開催される ～竜丘地区里山連絡協議会キックオフフォーラム～

3月13日に、竜丘地区里山連絡協議会の設立を記念したキックオフフォーラム（里山講演会）が開催されました。講師に、信州大学農学部助教の上原三知氏を迎え、イギリスや日本の先進事例を参考に里山の保安全管理と持続可能な地域づくりについて考えるきっかけとなりました。

「かつての里山は、多面的な機能を持っていたにもかかわらず、戦後、農業は農業、林業は林業と単一化が進んだため、外材の流入などでしっぺ返しが大い。」「里山はいろんな利用の集合体で、個々の土地の権利を主張するのではなく共有していく意識が大切」との話がありました。

また、イギリスや日本の事例等から、「私有地の一部を共有し、地区外の力を借りることで、新たな価値が生まれる。結果として、農村と都市との交流や景観の保全、海外からの旅行者の増加、農村部への理解が高まる」「一年に一回のイベントで40人を都市から集めるより、5人ぐらい集まるイベントを通年通して開催した方が、地域は活性化される」とのアドバイスがありました。

講演を受け会場からは、現在行っているギフチョウを守る取り組みも、他の組織ともっと連携していく必要があるとの発言もあり、里山を通じた地域内外の連携の必要性を確認する場につながりました。
(地域振興委員会)



「古墳の会」主催の講演会に多くの参加者

～専修大学土生田教授が来飯～

竜丘地区には 142 基の古墳があり群を成しています。姿として確認できるものは 13 基（内前方後円墳 9 基）です。文化財を壊すのは簡単ですが、保存継承は困難を極めます。この特徴ある古墳群を後世に引き継ぐ目的で、「竜丘古墳の会」が、昨年の 5 月に発足しました。

現在、竜丘古墳の会では、地区の人たちの憩いの場・いつ尋ねても美しい状態で楽しめる・ロマンを感じる古墳周辺の整備を進めています。そのため春先の草花植栽、年 4 回程度の草刈、小学 6 年生の「はにわ」づくり、6 回を数える古墳祭り、古墳にまつわる歴史など中味ある学習を行い、造詣を深めています。

この 3 月 1 日には、古墳研究の第一人者専修大学土生田純之教授に講演いただき、古墳に愛着を覚えたところです。悠久の時を刻んだ古墳を里として古墳公園化をめざし、将来に引き継ぐ思いに参加することで、ご理解ご協力を願うものです。

（公民館長 下平勝熙）



「壮年会」の活動を通した連帯感と仲間づくり ～桐林区壮年会～



桐林区には古くから万寿山の桜を管理している『共和会』がありますが、卒業後、若者が更なる親睦を深める場（団体）を作りたいとお祭りを中心に活動すべく『壮年会』が発足した旨聞いております。

当初は桐林八幡社の秋祭りに合わせ、境内でお神輿と三国奉納を中心に主催していたようです。現在では主会場を竜丘小学校に移し、「桐林区 秋祭り」実行委員会の中心メンバーとしてお神輿、バザー、打ち上げ花火の企画、運営に携わっております。

今年で創立 22 周年を迎えましたが、絶えることなく地元にながら活動をしてまいります。

（桐林区壮年会 会長 吉川博則）

「時又初午はだか祭り」盛大に開催される

～初午はだか祭り裏方紹介～



製作中の女性神輿

今年は 3 月 9 日（日）に、時又初午はだか祭りを開催しました。

1 月 8 日に、実行委員会総会を行い、毎週水曜日の夜と日曜日の午前中に定期的に準備作業を行いました。

今年は、午年の初午となりましたので、実行委員を始め、厄年・還暦の皆様にも力が入り神輿の大改装が行われました。中でも、故前澤敬司（前時又公民館長）さんの遺言のようになった女性神輿を作成しました。厄年神輿も全面改装し、色も金から赤いだるまに変え、還暦神輿も午をモチーフに改装を行いました。途中、週末に二度

の大雪に見舞われ、作業が思うように進まず、後半は連日連夜の作業により当日に間に合わせる事ができました。

（時又区壮年団 松野由幸）